



県大夕景



▲照明設置工事の様子



▲照明設置前のスロープ



▲照明設置後のスロープ

後援会では、後援会理事と学生とで様々なことを話し合う「学生懇談会」を一年に一度開催しています。昨年の学生懇談会では防犯について話し合い、学生からは外灯の増設の要望がありました。これを受けて、後援会では大学の施設担当者と学内を回り、必要と思われるところ6カ所に新たに外灯を設置しました。

陸上競技場と学生ホールの出口、環境棟のゲート付近に各1カ所設置し、部室棟付近に2カ所、そして、えんぴつ塔からバス停へ向かうスロープを降りたところにも2台照明を増設しました。いずれも今までから暗く、足元が危険であったり、“怖い”と感じさせる場所でした。スロープ下は伸びていた木の枝を同時に伐採したことで、照明の光が有効に辺りを照らし、付近を通る人が確認できるようになりました。

後援会はこれからも学生が安心、安全に学生生活を送れるよう、大学の施設整備事業に協力をしていきます。

CONTENTS

| | |
|---------------------------------------|-------|
| 県大ニュース | |
| 「外灯の増設」 | 1 |
| 留学特集 | |
| 「県大の留学制度」 | 2 |
| 「留学のかたち～学生インタビュー～」 | 3 |
| 「異文化理解A・アジア・フィールド実習」 | 4 |
| 「留学生研修旅行」, 「県大で外国語レッスン」 | 5 |
| 課外活動レポート | |
| 「第25回湖風祭」 「学生防災チーム発足!」 | 6 |
| 「カフェプロジェクト」, 「第3回カラム大会」, 「中庭イルミネーション」 | 7 |
| 就職だより | |
| 就職支援、保護者向け就職説明会、学内企業説明会 | 8 |
| インターンシップ報告、公務員試験対策講座 | 9 |
| 就職内定者インタビュー | 10 |
| 事務局からのお知らせ | 11-12 |

国際化推進室に
うかがいました

県大の留学制度

～保護者が知りたい留学のこと～



Q 誰でも留学できますか？

A 学部に関係なく、期間、目的、条件、予算等に合わせて留学することができます。

Q 留学の種類を教えてください。

A ①**交換留学**：本学と学生の相互派遣協定を締結している協定校への留学です。交換留学先の大学の授業料が免除されますが、留学先の言語能力、県立大学の成績、留学計画書の内容などに基づいて学内で選考があります。

【交換留学データ】

☆協定校の数 12カ国39大学1機関 (2019.12現在)

☆年間留学生数 国際コミュニケーション学科 48人、その他学科 4人 (2018年度)

※この数字は「交換留学」の人数です。

②**認定留学**：自分が学びたい分野や国が協定校になく、協定校以外の大学に行きたい場合の留学で期間が3ヵ月以上の留学です。

③**短期海外研修**：本学の夏季休業期間や春季休業期間を利用した約1か月の留学です。ほとんどの国の大学で、3週間程度の多様なプログラムが実施されているので、自分の条件に合ったプログラムを探して参加します。帰国後に修了報告書等の必要書類を提出することで、本学の短期海外研修助成金(3万円)に申し込むことができます。(※支給額と支給人数は予算上変動有)

④**「異文化理解」**：人間学の履修科目として、本学より夏休みまたは春休みに派遣され、2単位を取得できるプログラムです。夏季休暇にアメリカへ行く「異文化理解A」(定員15名)と春季休暇にオーストラリアへ行く「異文化理解B」(定員制限なし:2020年度より)があります。

⑤**「アジア・フィールド実習」**：東南アジア4か国の協定校のいずれかに10日間程度滞在し、自然・環境・社会・経済・文化について学ぶプログラムです。人間学の履修科目で単位を修得できます。(定員15名程度)

※その他、国際コミュニケーション学科の学生対象の派遣留学があります。

Q 費用はどのくらいかかりますか？

A ①**交換留学**：

| 留学先 | 期間 | 費用の目安(渡航費・生活費・海外留学保険費等含む) |
|--------|---------|---------------------------|
| アジア圏 | 5～10ヵ月間 | 約50万円～約90万円(留学助成金制度有) |
| アジア圏以外 | 5～10ヵ月間 | 約90万円～約180万円(留学助成金制度有) |

※費用に含まれていないもの(各種申請手数料等、現地交通費、教科書代等)

交換留学では、留学先の大学の授業料が免除されます。(県大の授業料は要納付)

②**認定留学**：留学する大学、留学期間により異なります。認定留学では、留学先の大学の授業料と県大の授業料を納付します。(留学先の授業料の1/2(上限10万円)の助成有)

③**短期海外研修**：留学する大学、研修期間により異なります。帰国後に修了報告書等の必要書類を提出することで、本学の短期海外研修助成金(3万円)に申し込むことができます。(※支給額と支給人数は予算上変動有)

④**異文化理解**：

| 留学先 | 期間 | 費用 |
|-----------------|------------|---------|
| 異文化理解A(アメリカ) | 3週間(夏季休暇中) | 約50万円程度 |
| 異文化理解B(オーストラリア) | 3週間(春季休暇中) | 約40万円程度 |

*学部生には後援会より助成金(¥10,000)の交付があります。

⑤**アジア・フィールド実習**：毎年実施国や時期、費用が異なります。

*学部生には後援会より助成金(¥10,000)の交付があります(条件有)。



留学の相談は国際化推進室へ!

留学関係の資料は国際化推進室の前にあります。



国際化推進室 フェイスブック

<https://ja-jp.facebook.com/UnivShigaPrefInternational>

留学について詳しくは滋賀県立大学のホームページをご覧ください。(http://www.usp.ac.jp/)

滋賀県立大学トップページ → 教育プログラム → 国際交流・留学情報

様々なかたちで留学(海外体験)をされた学生さんに動機、目的、感じたこと、これからのことなど…お話を伺いました。



福田 優

期間 9カ月間

人間文化学部
国際コミュニケーション学科 3回

留学形態 交換留学

アメリカ ミッドシガンカレッジ

留学を通して、常にビジョンをかかげて挑戦し続ける楽しさを実感しました。私はビジネスを学びたいという気持ちから、経済大国1位であるアメリカでの留学を選びました。経済や経営の授業とあわせて、半年間大学のビジネスサークルにてリーダーを務めました。実際に友人と起業の話をしたり、資金調達やボランティア活動を行ったのは大変貴重な経験でした。これからも探求心を忘れずに、将来の夢に突き進んでいこうと思います。



ビジネスサークルの仲間たちと



勝 保奈実

期間 6カ月間

環境科学部
生物資源管理学科 3回

留学形態 交換留学

台湾 中興大学

動機は、中国語と英語力の向上と台湾の文化に実際に触れてみたいと思ったからです。発音や文法の間違いを恐れずに話すことが大事だと留学期間中に強く実感しました。もどかしさや悔しさを多く感じたからこそ、忍耐力が身についたのだと思います。また様々な国の学生と交流をし、異文化についてさらに興味を持ちました。いろんな考え方があり、将来の選択肢が広がった気がしました。今後、世界中を旅して、新しい発見をしたいです。



クラスメイトと記念撮影



小田 光世

期間 1年間

人間文化学部
国際コミュニケーション学科卒業
(現在 商社勤務)

留学形態 認定留学(トビタテ!留学JAPAN)

ロシア モスクワ、プリアート

私はロシアを学び、日本との橋渡しの一端を担いたいと思っていました。留学を無事終えたのは、半分やけくそな楽観、半分意地でした。今も職業/趣味面で、留学で得た縁で繋がっています。想定とは異なる形ですが、「橋渡し」という究極の目標をこれからも追い続けます。



バイク乗りたちと



正木 美帆

期間 6カ月間

環境科学部
環境政策・計画学科 4回

留学形態 語学留学(私費)

オーストラリア ILSC Brisbane校

「英語」は中学生の頃から最も苦手とする教科でした。しかし、大学3年間の海外研修や留学生交流、国際NGOインターンなどの経験を通して、英語力の必要性を強く実感し留学を決めました。語学学校で多種多様な人々と過ごす中で、世界には私の知りえないことが無限に存在し、今まで偏った知識と観点で生きていたことに気づきました。これからも新たな物事に触れ続け、いつかそれらを武器に世界で戦っていきたいと思っています。



友人たちと留学最後のディナー



白谷 祥貴

期間 40日間

工学部
機械システム工学科 3回

留学形態 語学留学(私費)

フィリピン セブ島の語学学校

高校の頃から海外に一人で生活してみたいという思いがあり、時間に余裕がある大学生の間に経験しておこうという気持ちから今回の留学に踏み切りました。今回の留学では英語の学習だけでなく、それ以上に現地の人や他国の留学生との交流が大切な経験になりました。英語を学ぶだけではなく、学んだ知識を私生活でも使うという経験は、留学に行かなければ得られないものだと感じました。また機会があれば海外に行きたいです。



エルニドアイランド



野崎 陸大

期間 約2週間

環境科学部
環境建築デザイン学科 2回

留学形態 近江薬座「タクロバン復興支援プロジェクト」

フィリピン タクロバン

フィリピンに行くことになったのは、先輩から現地で生活しながらコミュニティチャペルの設計をしているというプロジェクトの話聞き興味を持ったからです。タクロバンでは風呂が無く毎日水浴びだったり、ゴミをその場に捨てていたり現地のリアルな生活や考え方の違いに衝撃を受けました。チャペル建設やホームステイを通して現地の人達の心の豊かさを知り、日本での生活を見つめ直すきっかけになりました。



現地の子供たちと

人間学 異文化理解A

夏季休業中の約3週間、アメリカオレゴン州のポートランド州立大学において、「人間学異文化理解A」として短期研修を実施しています。この研修は、ポートランド州立大学教員による英語の講義と、ポートランド市の豊かな自然環境や生活文化を体験するフィールドトリップにより構成されています。その他、研修開始後3日間の寮生活以降は一般家庭において各自ホームステイ生活を行い、英語によるコミュニケーション能力の向上はもちろん、海外生活やアメリカの文化を体感することで国際感覚を涵養するとともに、異文化との交流と理解を深めることを目的としています。出発前には本研修に関する特別授業を受講するとともに、帰国後は授業やホームステイなどの体験内容をまとめ、発表する機会を設けています。今年度は11名が参加しました。



ポートランド州立大学



参加者とポートランド州立大学職員

[国際化推進室]

■参加学生の感想

工学部 材料科学科3回 大田 広太



この研修に参加して驚いたことは、アメリカの人のボランティアに対する意識の高さです。私はこの研修の中で、ボランティアプログラムを選択し、日本では体験できないような様々なボランティアに参加しました。現地の人たちに話を聞くと、全員が何かしらのボランティアに参加したことがあるか、今も定期的に参加しているとのことでした。その中の一人の言葉でとても印象に残っている言葉があります。「自分がいつできなくなるかわからないから、自分のできるときにする。」この言葉で私はアメリカと日本の違いが分かった気がしました。

現地の人たちと関わっていくうちに、英語を間違えることを恐れていた自分が消えていきました。何度間違ってもアメリカの人は待ってくれるし、教えてくれるのでとても英語が好きになりました。日本に戻って、もっと英語を勉強したくなりました。



アジア・フィールド実習Ⅰ・Ⅱ / 国際環境マネジメント特論

■日程：2019年9月13日（金）～23日（月）

■場所：チルマイ山国立公園および周辺、ボゴール市（インドネシア、ジャワ島）

アジア・フィールド実習では東南アジア4カ国（フィリピン、タイ、ベトナム、インドネシア）の協定校のいずれかを受け入れ校とし、英語講義、現地でのフィールドワーク、現地の学生とともに実施するワークショップを通じて、持続可能な発展への課題について学びます。全学部を対象とする人間学科目であり、「Ⅰ」の次に「Ⅱ」を履修することで2回まで単位取得が可能です。大学院生の科目としては「国際環境マネジメント特論」となり、海外のスタッフと協力してプログラムをオーガナイズする過程も併せて学びます。2019年度は、ボゴール農科大学を受け入れ校として実施し、環境科学部から学部生16名、環境科学研究科から大学院生3名が参加しました。



[環境科学部 生物資源管理学科 原田英美子]

■参加学生の感想

環境科学部 環境生態学科1回 守屋 優作



私がアジア・フィールド実習に参加しようと思ったのは熱帯雨林気候の生態をこの目で見たかったからです。しかし、英語能力に自信がなく、一回生が自分一人だけだったので行く前は不安を感じていました。ですが実際に行ってみると訪問先のボゴール農業大学の学生が気さくに話しかけてくれ、いつの間にか不安を感じなくなっていました。英語は満足できるほど話せたわけではないですが、自分なりにボゴール農業大学の学生とコミュニケーションをとることができ、充実した日々を送ることができました。私は今回の実習で英語だけではコミュニケーションは成り立たないということ、言語以外のコミュニケーションの仕方(ジェスチャーなど)があるということを知りました。この経験を糧にコミュニケーションの取り方について改めて考えていきたいと思っています。

滋賀県立大学ホームページ NEWS&TOPICS (<http://www.usp.ac.jp/topics/Indonesia2019/>、2019年10月3日)も併せてご覧ください。

2019年度留学生研修旅行～比叡山延暦寺～

10月20日、本学に学ぶ交換留学生20人とともに比叡山延暦寺を訪問した。にわか雨も予報されていた天候であったが、山上は幸運にも晴天に恵まれ、眼下に琵琶湖の全景を見下ろすことができ、学生たちからは歓喜があがっていた。参加学生は4週間前に来日したばかりであり、ようやく日本での生活にも落ち着きが出てきたところであった。滞在地域の周辺にある寺社は訪れたことはあるが、延暦寺のような壮大な寺院はみな初めてであり、建造物の荘厳さと寺院の建つ比叡山の豊かな自然に深い感銘を受けたようだ。日本人の日常生活に仏教がどのような影響を与えてきたか、なぜ延暦寺が山上に建立されているか、といった説明をしながら山中を4時間ほどめぐった。

膨大なデジタル情報により、もはや教職員の助けを借りずとも自らで計画を立ててどこでも気軽に旅行できる現在であるが、今回の研修旅行がそれとは違った、日本文化に対する知的好奇心を沸き立たせるきっかけとなっていれば幸いである。

全学共通教育推進機構 島田和久



■参加学生の感想



海南大学 孫若琪（ソンジャクキ）
今回、研修旅行で延暦寺を訪問して日中のお寺の違いを感じることができました。その一つは建物のレイアウトです。中国のお寺は対称性を重視し、建物はすべて中心軸に沿って分布しています。一方、延暦寺は山道に沿って複数のお寺が点在しており、自然の地形を利用して建物を配置していました。島田先生が私たちを連れて山道を歩きながら多くのお寺を巡ったことからそのようなことを感じました。私は宗教文化に興味があるし、お寺の静かで穏やかな雰囲気も好きです。比叡山に行っても楽しかったです。



国際コミュニケーション学科1回 林 こころ

今回の比叡山延暦寺への研修旅行で、多くの留学生と話すことができ、特に私は第二外国語として中国語を学んでいるので、中国からの留学生から日常的に使う単語を教えてもらったりと、とても楽しい時間を過ごすことができました。

一方で、比叡山の寺を回る中で、留学生から枯山水の意味や地蔵とは何かなど、様々な質問を受け、それに対してうまく答えられなかったことから自分の知識のなさを実感しました。このことから単語や文法だけでなく日本の歴史や文化を学び、それを日本語以外の言語で説明できることも、コミュニケーションをとるうえで重要だということ学びました。

私自身、比叡山に行くのは初めてだったのでとても良い思い出になりましたし、またこのような機会があれば参加したいと思います。

県大で外国語レッスン

「Nice Conversations Program」

「Nice Conversations Program」は、県大生と留学生の交流を目的とした無料プログラムで、平日昼休みに予約制で開催しています。全学部生/大学院生/留学生/研究生を対象としており、県大生なら誰でも参加が可能です。2019年12月現在、イギリス、ドイツ、フランス、スペイン、モンゴル、中国、韓国、インドネシアからの留学生と留学経験のある県大生が会話パートナーを担当しています。日本語を含め、9カ国語の会話レッスンと国際交流が気軽に体験でき、県大生と留学生に大変好評です。



【コミュニケーションラウンジ】

第25回 湖風祭



昨年の11月9日(土)・10日(日)に第25回湖風祭を開催しました。開催日の1週間前から雨天の心配がありましたが、二日間とも晴天に恵まれ、無事湖風祭を開催することができました。当日は、県大生はもちろんのこと、多くの地域の方々にご来場いただき、みなさんと一緒に湖風祭を作り上げることができて本当に嬉しく思っています。湖風祭は私たち実行委員の力だけでなく、県大生をはじめ、地域の方々や会場にお越しいただいた皆様、湖風祭に関わってくださった皆様のお力添えをいただいて完成するお祭りです。第25回湖風祭を開催でき、無事終わることができたのも、皆様のおかげです。ありがとうございました。

これからも、みなさんと一緒に作り上げ、笑顔あふれる、思い出に残る湖風祭を目指し、活動していきます。ぜひ、来年度に開催されます第26回湖風祭にもお越しください。実行委員一同、皆様のご来場を心よりお待ちしております。



滋賀県立大学湖風祭実行委員会
第25代目実行委員長
中村 寛生

学生防災チームが結成されました!

東日本大震災後、宮城県南三陸町での復興支援を通して災害の恐ろしさと防災の大切さに気づいた私たちは、学生防災チーム“もの言うナマズ”を2019年11月に結成しました。防災意識向上を目標に県大の避難マニュアルの作成や楽しい防災イベントを企画するなど、滋賀県立大学はもちろん滋賀県の防災活動の啓発を行っていきます。

代表 長島 宏祐
(人間文化学部地域文化学科2回)

防災チーム
“もの言うナマズ”の皆さん



○非常食試食会の様子
(2019.11.25)
非常食の「わかめご飯」の試食と防災に関するアンケートを実施しました。

カフェプロジェクト

昨年の12月に学食前の学生ホールで「カフェプロジェクト」が開催されました。大学では「共通講義棟の省エネに関する取り組み」を推進しており、学生が空き時間や昼休みに講義室に留まらず、学生ホールをもっと活用する意識を持ってもらうための企画です。



カフェプロジェクトでは、大学生協さんと後援会も協賛し、お昼休みに焼き立てパンとコーヒー牛乳をセットで通常より安く販売しました。併せて日替わりで「クリスマスコンサート」を開催し、吹奏楽部、オーケストラ部、アカペラサークルTRI TONEと県大OBのシンガーソングライターのwanさんに演奏をしていただきました。

後援会は、赤と緑のコントラストが美しいポインセチアとシクラメンを学生ホールに飾り、華やかな空間を演出しました。



● 第3回学長杯争奪 ● カロム大会



昨年の9月25日(水)に第3回学長杯争奪カロム大会が開催されました。

カロムは、滋賀県の彦根地域で老若男女に親しまれているボードゲームです。指で弾いて自分の色の駒を先に四隅のポケットに全て入れた方が勝ちというゲームです。

今年は、昨年に引き続き参加するチームや初めてカロムをする初心者のチームなど、13組26名がエントリーし、初出場の「湖風S」チームが並みいる強敵を退け初優勝という快挙を成し遂げました。上位入賞チームには廣川学長より賞状と副賞が手渡されました。

カロム大会以降、カロムを1台学生ホールに設置し、学生がいつでも自由に遊べるようにしました。今後も地元の遊び「カロム」で県大が盛り上がっていくことを楽しみにしています。

中庭イルミネーション

今年も昨年に引き続き、カフェテリア横の中庭で「裏方団体CBO」によるイルミネーション企画が実施されました。今年は青や白のイルミネーションが増え、テラスには色が変わる“光るライトキューブ”が設置されました。一部の壁には学生たちが作成したプロジェクションマッピングも投影され、“中庭カフェ”イベントでお披露目されました。

カフェテリアで夕食を取りながらイルミネーションを楽しむこともでき、冬の寒くて暗い大学が明るく照らされ、学生たちの心も明るく照らすイルミネーションになりました。



就職担当から保護者の皆様へ

昨年の10月30日に、政府「就職・採用活動日程に関する関係省庁連絡会議」は、2021年度卒業・修了予定者(現2年生)の就職・活動日程について、現行ルール(広報活動:3月1日以降、採用選考活動:6月1日以降、正式な内定日:10月1日以降)と同じとすることを決定しました。

しかし、現行ルールはインターンシップ(就業体験)などを通じた採用の早期化が進んでいる実態とズレがあり、既に形骸化しているとの指摘があるところです。重要なことは、学生がしっかりと学業に専念した上で円滑に就職活動を行うことができる環境を整えることであります。このような状況の中、本学においては、学生が社会人基礎力および実践力を身に付けて社会に力強く羽ばたいていけるように、1年生の段階から計画的・体系的なキャリア教育を実施するなど、柔軟で計画的な教育・指導を引き続き実施していきたいと考えています。

就職活動中のお子様は、緊張とプレッシャーの連続で休む暇もありません。親心から「そんな会社は知らない」「お前には向いていない」などアドバイスのつもりで発言されるかもしれませんが、このような保護者の皆様の否定的な言葉は、お子様の可能性を狭めてしまうことにつながります。決して保護者の皆様の価値観を押し付けて内定を辞退したりすることのないよう、お子様自身の意思を尊重してあげてください。

[学生支援センター 就職担当]

保護者向け就職説明会を開催しました

昨年の10月26日(土)に本学交流センターにおいて、保護者を対象とした就職説明会を開催しましたところ、209名の保護者の方々に御参加いただきました。

本学の就職支援の状況についての説明に続き、本学の就職セミナーの講師をお願いしている一般社団法人キャリアラボ代表理事の松田剛典様から「受かる力から探す力へ～これからの就職活動で必要になる力～」と題し講演をしていただきました。

その後の座談会では、就職活動を終えたばかりの内定者(現4年生4名)が登壇して、「就職活動を振り返って」というテーマに基づき、松田様の司会進行のもと、就職活動の進め方や保護者のサポートの重要性など、実体験を踏まえた生の声を聞かせてくれました。

引き続き学科別の個別相談会を開催し、11学科32名の保護者の方が学科教員と個別に相談されました。



講演の様子



熱心に聞き入る保護者の皆さん

学内企業研究会を開催します

企業の広報活動解禁後の令和2年3月2日(月)から5日(木)までの4日間、学部3年生および大学院1年生を対象として、県内外の優良企業112社が参加する「学内企業研究会」を本学交流センターで開催します。

参加企業は本学学生を採用したいと強く希望している企業ばかりですので、学生には何となく知っている企業のブースを訪問するだけでなく、十分な事前準備を行い、今まで知らなかった企業のブースも積極的に訪問してほしいと思います。



昨年の様子

インターンシップ報告

学部3回生と修士1回生を対象として、夏季休業中にインターンシップを実施しました。これは、就職活動を控えた学生が、職業観や勤労観を育成し、就労への意欲を高めるとともに、自己の職業適性や将来設計についての認識をさらに深めることを目的としています。

本学と企業・団体等が覚書を締結して行う「協定型インターンシップ」には、69名が参加しました。この中には、COC+事業（本学と県内5大学、滋賀県、滋賀県産業界等との協働のもと滋賀県内就職率向上と雇用創出に取り組む教育プログラム）による3名も含まれています。

実習期間は、多くの学生が1週間ないしは2週間でしたが、1-day,2-dayの短期インターンシップとは異なり、先輩社員の働く様子を間近で見聞きしながら、実際の現場で指導を受けながら一定期間働くことにより、新たな自己発見につながる貴重な機会となっています。体験先は、県や市役所等の官公庁や製造業、サービス業、そして金融業等多岐にわたっています。

参加者は、4月のガイダンス、7月のマナー講座、直前研修を経て実習を体験しました。また、事前レポート、実習日誌、事後レポート（実習報告書）の提出が課せられています。10月には、インターンシップを振り返る報告会を学内で実施しました。そこでは、参加した全学生がパワーポイントを使用して発表を行い、その後班別でインターンシップで学んだこと、「働く」ことの意義等についてディスカッションを行いました。学生からは、「仕事に対しての責任の重さを感じた」「自分が今後取り組むべき課題が明らかになった」等の感想が聞かれました。

インターンシップの体験を今後の大学生活に生かし、成長し続けてくれることを期待しています。

[学生・就職支援課 インターンシップ担当]



実習の様子（9月）



報告会（10月）体験発表とグループディスカッション



公務員試験対策講座のご案内

本学では、毎年5月から翌3月まで主に3回生を対象に公務員試験対策のプロによる「公務員試験対策講座」を3コース開講しています。それぞれ有料ですが、受講者には後援会から助成金（※）が交付されます。※後援会費未納者は助成対象となりません。

| 地方上級・国家一般職コース(全224コマ) | 教養科目対策コース(全94コマ) | 専門科目対策コース(全146コマ) |
|--|---|---|
| [対象] 国家一般職・地方上級・国税専門官・市役所等の行政系職種を目指す方 | [対象] 市役所(一般教養試験のみ)・技術職・福祉職・警察官・消防官を目指す方や、地方上級・国家公務員を目指す1・2年生の方 | [対象] 地方上級・国家公務員の行政職を目指し、教養科目対策コースを既に受講された方 |
| [内容] 公務員試験に必須の主要5科目の集中的なライブ講義とゼミの開講 | [内容] 全ての公務員試験で最重要の数的処理を中心とする集中的なライブ講義 | [内容] 地方上級・国家一般職コースより教養科目対策コースの講義を除いた内容 |
| [受講料] ¥80,000 (税込・教材費・模擬試験込) | [受講料] ¥30,000 (税込・教材費・模擬試験込) | [受講料] ¥50,000 (税込・教材費・模擬試験込) |
| [助成金] ¥10,000(受講料全額支払い後、後援会に申請し助成金を受取る) | [助成金] ¥4,000(受講料全額支払い後、後援会に申請し助成金を受取る) | [助成金] ¥6,000(受講料全額支払い後、後援会に申請し助成金を受取る) |

※コース内容および受講料、助成金額は2019年度の情報です。2020年度は変更になる可能性があります。

★本学の公務員試験合格者は増加傾向にあります。現状では、合格者が37名おり(11月29日現在)、内19名が行政・事務系職、18名が農業等の技術職や公安職です。

公務員試験合格者の半数以上である24名が講座受講生です。しかも、約1年間もある講座を最後まで受講し続けた学生が合格を勝ち取っています。毎年、4月20日頃に講座の説明会を行っております。お子様が公務員を目指しておられましたら、参加を勧めてください。

[学生支援センター 就職担当]

「就職活動成功体験インタビュー」～学生からのメッセージ～

就職内定を勝ち取った4回生の皆さんの中から4名の方にお話を伺いました。

横川 大輝
環境科学部 環境政策・計画学科
(内定先)
滋賀県 (行政職)



| 志望業界 | 公務員 |
|--------------|-----|
| 説明会参加数 | 4社 |
| エントリーシート提出数 | 6社 |
| インターンシップ参加社数 | 0社 |
| 面接数 | 4社 |
| 内定数 | 4社 |

- **就職活動で内定を勝ち取るために何が一番大切だと思いますか？**
公務員試験では筆記試験の対策が一番大切だと思います。多くの公務員試験では面接の配点が最も高いですが、面接では大きな差がつきにくいと感じました。そこで、筆記試験で高得点をとり、ライバルと差をつけることが内定につながると思います。
- **後輩の皆さんへ就活のアドバイスをお願いします。**
公務員試験は筆記試験と面接両方の対策が必要です。筆記試験は勉強に取り組んだ時間が顕著に表れるので、コツコツ勉強することが大切です。面接は話すことが苦手な人でも大丈夫。入念な準備で乗り切ることができます。民間企業が売り手市場のいま、公務員試験の倍率は軒並み下がっており、チャンスです！
- **家族へのメッセージをお願いします。**
1年以上にわたる公務員試験を乗り切ることができたのは、家族の支えがあったからです。私のことを信じて就職活動のことについてはしつこく口を出さず、衣食住のサポートに徹してくれたおかげで、公務員試験に集中し、複数の最終合格を勝ち取ることができました。ありがとうございました！

木戸 優希
工学部 材料科学科
(内定先)
京セラドキュメントソリューションズ株式会社



| 志望業界 | 科学系技術職 |
|--------------|--------|
| 説明会参加数 | 12社 |
| エントリーシート提出数 | 2社 |
| インターンシップ参加社数 | 2社 |
| 面接数 | 2社 |
| 内定数 | 1社 |

- **就職活動で内定を勝ち取るために何が一番大切だと思いますか？**
行動力だと思います。就職活動にはこの時期にこれをしなければいけないなんていう決まりはありません。また周りや比べる必要もありません。自分が少しでも気になったことがあればすぐに行動に移しましょう。自分で考え行動したことは何かしら次につながるものが得られます。その積み重ねでゴールが見えてきます。
- **後輩の皆さんへ就活のアドバイスをお願いします。**
どの会社もというわけではないので、参考程度に受け止めていただきたいのですが、私の場合インターンシップに参加したため4月の解禁日を待たずに早期に選考が始まり、3月中に内定をいただきました。特に理系の人はこのようなお声がかかる可能性が高いと思いますので、気になる会社のインターンシップには是非とも行きましょう。
- **家族へのメッセージをお願いします。**
私の両親は自分がしてきた就職活動とは違い過ぎて分からないという理由で就活に関して基本的にノータッチでした。しかし数十年前に社会に出た先輩として、また現在働いている身として客観的な意見をくれました。両親からのアドバイスはまだ社会を知らない私の強い味方でした。ありがとう！

伊作 希望
人間文化学部 国際コミュニケーション学科
(内定先)
日本航空株式会社



| 志望業界 | 航空・教育・飲食 |
|--------------|----------|
| 説明会参加数 | 13社 |
| エントリーシート提出数 | 10社 |
| インターンシップ参加社数 | 4社 |
| 面接数 | 9社 |
| 内定数 | 5社 |

- **就職活動で内定を勝ち取るために何が一番大切だと思いますか？**
自身のことをよく知り、自分の言葉で伝えることです。面接官は何百人もの就職活動生と向き合ってきたプロです。どれだけ自分を良く見せようとしても、見抜かれてしまいます。自分がどんな人間なのか分析し、なぜその企業を志望するのかまっすぐ伝えることが内定への道です。
- **後輩の皆さんへ就活のアドバイスをお願いします。**
3つ伝えたいと思います。初めに、お断りされても落ち込まないでください。ご縁がなかっただけです。次に、自信を持ってください。あなただけの経験や価値観は素晴らしいものだからです。最後に、あなたを応援して下さる周りの方々への感謝を忘れず頑張ってください！
- **家族へのメッセージをお願いします。**
いつもポジティブに応援してくれてありがとう。その明るさのおかげで、本来は大変なはずの就職活動を最初から最後まで楽しんでやりきることができました。内定通知を真先に報告できて嬉しかった。たくさん恩返ししていくからね！これからもずっとずっとよろしくをお願いします。

濱田 桃香
人間看護学部 人間看護学科
(内定先)
滋賀県立総合病院



| 志望業界 | 看護師 |
|--------------|-----|
| 説明会参加数 | 2社 |
| エントリーシート提出数 | 1社 |
| インターンシップ参加社数 | 2社 |
| 面接数 | 1社 |
| 内定数 | 1社 |

- **就職活動で内定を勝ち取るために何が一番大切だと思いますか？**
病院の就職試験は、面接のみのところも多いですが、中には小論文や国家試験レベルの専門試験が行われることもあります。気になる病院を見つけたらまずは試験内容を確認して、対策スケジュールを立てることが大切だと思います。面接内容は、病院によって特色があるので、事前に先輩の就活報告書を読んで面接内容を確認し、ある程度考えておくとうれしいと思います。
- **後輩の皆さんへ就活のアドバイスをお願いします。**
他学部が就活を本格的に始めるときに、看護学部生はちょうど各論実習で身体的にも精神的にも苦しくなると思います。この時期に焦って2つを両立させようと思うとどちらか中途半端になってしまいがちなので、まずは目の前の実習に全力で取り組んでも良いと思います。余裕のある方は、実習中に自分の目指す看護師像や働きたい職場をイメージするとその後の就活に役立つと思います。
- **家族へのメッセージをお願いします。**
看護学部での大学生活は、一回生の頃から課題や実習で多忙なことが多かったけれど、いつも優しく見守ってくれてありがとう！就職活動では、最後まで私の考えや意志を尊重してくれてとても嬉しかったです。ここまで支えてもらった分、来年からはいっぱい恩返ししていきます！

「大会出場激励金授与式」

後援会では、予選を通過して関西や全国規模の大会に出場する学生に大会出場激励金を授与しています。今年度は、12月までに4団体23名が倉茂理事より激励金を授与されました。

吹奏楽部

「第69回関西吹奏楽コンクール」出場



陸上競技部

「第87回近畿陸上競技選手権大会」出場

- 男子ハンマー投 神谷一貴さん
- 女子400mハードル 藤林悠希さん
- 女子800m 西田朱里さん
- 男子4×100mリレー
疋田天希さん、小杉康之さん、辻駿介さん、
畑野響さん、中澤峻哉さん、井下和輝さん

ウインドサーフィン部

「第37回伊勢湾カップ2019」出場

徳田龍司さん、伊藤大智さん、平野健太さん、
三田村聡太さん、廣瀬かなこさん、
児島廉さん、松本彩理さん

「2019年度全日本学生

ボードセーリング選手権(インカレ)」出場

徳田龍司さん、伊藤大智さん、平野健太さん、
三田村聡太さん、児島廉さん



水泳部

「第66回全国国公立大学選手権
水泳競技大会」出場

- 50m自由形、100m背泳ぎ 岩井柊太さん



リサイクル市開催のお知らせ

環境系サークル「LEAFS (リーフス)」による、リサイクル市が開催されます。

日時 2020年3月29日(日) 12時00分より

場所 滋賀県立大学 交流センター

取扱品 家具: カラーボックス・机・イス・ベッド等

家電: 冷蔵庫・洗濯機・電子レンジ・照明・トースター・炊飯器等

その他: 自転車、食器、雑貨など

卒業する学生の下宿等で不要になった生活用具を中心に安価にて販売します。

詳しくはLEAFSのホームページをご覧ください。

[リーフス リサイクル市](#)

事務局からのお知らせ

「はっさか 50号に寄せて」
3月に退任される役員各位からのメッセージを掲載します。

毎年1度ある学生達との懇談会で要望を聞き、学生のひたむきさや真剣さ、情熱へ応えるべく、理事会にて精査しながら後援会の皆様からお預かりした会費を様々な事業に当てさせていただきました。

成人年齢は18才となり、社会は大学生を分別のある大人としてみる時代です。『流石は県大の学生さんだね』との評価が今後も耳に届くよう期待し、本学の更なる発展と皆様のご健勝を祈願し結びとさせていただきます。

長谷部 長一



左から清水理事、西村理事、長谷部会長、竹中理事

後援会理事のお役目に御縁をいただき、思う様に出席できないまま早や四年が経ち

ました。数回の出席でしたが、後援会の支援が様々な方面に行われていることを知りました。

学生懇談会では各種団体の具体的な要望を見聞き、湖風祭見学時には後援会が支援して改良された場所を実際に歩いて案内してもらい、学内の雰囲気を楽しむことができました。事務局の方々が、平日頃広大なキャンパスの隅々まで目配りしてくださっているからこそ、後援会の助成事業も無駄なく行うことができるのだと頭が下がる思いです。

今後とも県立大学の発展と学生たちの活躍を後押しできる後援会活動が末永く継続されることを願っております。

竹中 亜希子

毎年湖風祭初日には理事会が開かれ、その後は学生懇談会やアンケート等で要望のあったもの、これまでの後援会助成で実現したもの等、事務局・大学の方からの説明を受けながら学内を回ります。最高潮に盛り上がる学生さん達の力と熱気を感じ、同時に施設の現状を知り、支援の在り方を考えることができる

貴重な機会で毎回楽しみでした。後援会理事のお話を頂いた時これもご縁とお引き受けしてからあつという間の4年間。皆様には大変お世話になりました。滋賀県立大学、関わる全ての皆様のご活躍をお祈りいたします。

西村 法子

後援会理事をさせていただいたことは、県大を知る貴重な経験となりました。特に、学生懇談会は娘と私の中で毎年話題になり、学生の熱い想いを直接聞けて大変学ぶことが多い機会でした。学生たちが、事務局の方や後援会のサポートを受けて喜んでくれたり、湖風祭で楽しませてくれたことは、私たち後援会として冥利に尽きます。皆様と共に有意義な時間を過ごせたことを感謝いたします。

今後も学生たちの声に寄り添える後援会として、大学生生活のさらなる充実のサポートを期待しております。

清水 三知子

春の学校行事のご案内

■2019年度 学位記授与式

日時:2020年3月20日(金・祝日)

第1部 大学院学位記授与式

午前9時~9時30分

第2部 学部学位記授与式

午前10時45分~(11時30分)

※学生表彰(11時30分)~11時50分

場所:滋賀県立大学

交流センターホール

■2020年度 入学式

日時:2020年4月7日(火)

午前10時開式

場所:ひこね市文化プラザ

■2020年度 後援会総会

日時:2020年4月7日(火)

午前11時15分開会

※入学式後、同会場にて開催予定



滋賀県立大学後援会

検索

http://www.usp-koenkai.jp

後援会ホームページのご案内

後援会の事業内容や会報「はっさか」のバックナンバー、お知らせや大学の様子を伝えるトピックなどをご覧いただけます。大学行事や試験期間、休業期間がわかる大学カレンダーもお役立てください。